Easter Village

イースタービレッジだより　第63号

メリークリスマス！

人が人として扱われるように

フィリピンのクリスマスは「パスコ」と呼ばれ、世界で一番最初にクリスマスキャロルを歌い始める。英語のＢＥＲのつく月、つまりSEPTEMBER からパスコなのだ。外国で働くＯＦＷと呼ばれる家族を外国から支える人たちが帰国し、家族や親せきと一緒にクリスマスを過ごす最も嬉しい、楽しい時期なのだ。諸外国に労働者として積極的に送り出すフィリピン、いや貧しいアジアの国々の特徴なのだろう。

受入国の側に立つと、労働不足解消のため、また、安価な労働力として日本でも今積極的に外国人労働者を受け入れようとしている。すでに技能実習生という名目で単純労働に従事させていることや、失踪が絶えないことなど、現代の奴隷制度とも指摘され、改善が求められている。

移民国家スイスでは「我々は労働者を求めたが、やってきたのは人間だった」という作家の言葉がある。受入国は、休みなく安価に働く機械ではなく、神の似姿として作られた尊厳を持つ人間として、家族を持つ人間としてきちんと受け入れられる体制や受け入れ側のメンタリティーの準備も必要だろう。

教皇フランシスコによって呼びかけられているキャンペーン「排除ＺＥＲＯキャンペーン」（Share the Journey Campaign）は、どの人も人間の尊厳を大事にされる扱いを受けることを強調している。良いサマリア人の話のごとく、「隣人とは誰ですか？」と律法の専門家が聞いたようにではなく、「隣人になったのは誰か？」と問う発想、積極的に隣人になっていく発想が私たちに必要なのだろう。イースタービレッジの卒業生も多くＯＦＷとして外国で働く道を選択している今、私たちにとっても他人事ではない。

すべての人のために一番貧しいところにお生まれになった救い主の心が、私たちの中にも生まれますように。

祐川　郁生神父

クリスマスに向けて

巻頭言でも触れられた通り、フィリピンのクリスマスシーズンは9月からスタートします。そしてイースタービレッジの子どもたちも12月のアクティビティーに向けて準備を開始しました。

12月にはクリスマスパーティーはもちろんのこと、みんなで外の家々を訪ねてクリスマスソングを披露するキャロリングや、今年はダバオへの遠足も計画しています。

歌やリコーダーの練習をしたり、遠足でのお小遣いを稼ぐためにパスティリアスと呼ばれるお菓子を作って売ったりと、来たる本番に向けて、高まる期待に胸を膨らませながら準備を進めているようです。

リコーダーを寄付してくださった月寒教会の関係者の方々には、心から感謝申し上げます。

ソプラノ練習中

現地スタッフの祐川真謙さんが指導しています

アルトリコーダー組もパート練習

おかし作りの様子　みんなでする作業は楽しいもの　一つ1ペソで売ります

分かち合い

クリスマスといえばプレゼントが欠かせませんが、今年は副施設長のチェチェの発案で、ストリート・チルドレンとレイプ被害者の支援施設にEVからプレゼントを届けようということになりました。

喜びの分かち合いはクリスマスの本質であり、子どもたちにも受け取るだけではなく分け与えることを学んで欲しい、との想いだそうです。

プレゼントには今まで寄付で頂いた衣服類や、歌や楽器の演奏もする予定です。

みんなで衣服類の仕分け作業中

パパイアの木

子どもたちの暮らすホームの裏庭に植えられているパパイアの木が、たくさんの実を付け食べ頃を迎えました。

パパイアはとてもヘルシーで子どもたちのおやつとして人気があり、またその葉っぱも薬やお茶にできるなど利用価値があります。

イースタービレッジにはたくさんの綺麗な花や美味しいフルーツがありますので、みなさんも訪れる機会があればぜひ楽しんで行ってください。

写っている木全てパパイアの木です

日本からの贈り物

聖心の布教姉妹会のシスターたち、それと匿名の日本人の方から子どもたちにプレゼントが届きました。

シスターからは日本のお菓子、匿名の方からは通学用のカバンやスポーツシューズ、子供服や日用品などを頂きました。

いつも寄付をくださる方々、子どもたちに必要な物を届けてくださる方々、また祈りを捧げてくださる方々によって、子どもたちみんなの笑顔は支えられています。いつも変わらないご支援に感謝いたします。

パパイアの木の下で

いつも本当にありがとうございます　頂いたものは大切に使わせていただきます

ご寄付いただいた方々 心より御礼申し上げます。

藤原慈子　千葉史郎
水口透　高桑久子
トラピスチヌ修道院
カトリック北26条教会
カトリック円山教会イースタービレッジを支える会
株式会社リモウ
上関敦子　末吉偕子
聖心の布教姉妹会
佐山淑子　永井　幸雄
阿部秀子　笠松　博子
古屋君代　大沢　淳子
森田美千代　髙橋大作
榊原旬　佐藤克洋
トーエイ貿易株式会社
髙橋昭市　萬屋三男
大崎彩子　菊地真澄
宮崎喜代子　平田敦子
祐川眞一　能町浄彦
公益財団法人社会貢献支援財団
上野祐子　榎本みつ枝
Oakキャピタル株式会社
川成多紀子　扇谷良廣
カトリック月寒教会
カトリック月寒教会バザー委員会
聖心女子大学同窓会宮代会北海道支部
聖ベネディクト女子修道院　髙橋博子
角田カトリック幼稚園
カトリック北広島教会
秋田憲子　田上晶子

（敬称略・順不同）

2018年8月16日～11月8日

EVの昨日今日

佐藤宝倉神父の訪問

9月の初めにフランシスコ会司祭の佐藤宝倉神父が、神学生の豊田知彦さんを連れてビレッジを訪ねてくれました。

佐藤神父はフィリピンでろうあ者のための活動をしている方で、これまでにもイースタービレッジには機会があるたびに何度も訪問してくれています。

今回は5日間ほどの滞在日程でしたが、子どもたちのためにパーティーを開いてくれたり、日曜日にはビレッジのチャペルでミサをしてくれました。

またの訪問を心からお待ちしています。

英語でミサをしてくれました

豊田さんはみんなとすぐに打ち解けて一緒に遊んでくれました

グアポ(ハンサム)だと一部にはファンもできたとか・・・

佐藤神父様、豊田さん、またいつでも遊びに来てください！

学生支援への取り組み

フィリピンには働きながら学校に通うワーキング・スチューデントと呼ばれる学生が数多くいます。日本での学生アルバイトとは違い、純粋に学校に通うために働くのです。

よくある形としては、親戚の高校生や大学生を住み込みで家に受け入れて食事や住む場所を提供し、その見返りに授業のない日に家の手伝いなどをしてもらうのです。また、親戚の子供でなくても積極的に貧しい家の学生を受け入れ支援する人たちもいます。

イースタービレッジでも、フィリピン社会のそのようなニーズや地域社会貢献の観点から、試験的にではありますが、**レネ**と**マイマイ**いう2人の青年をワーキング・スチューデントとして受け入れることに決めました。

レネは現在21歳で、来年の高校卒業に向けて、土・日はEVのケアギバーの手伝いをしながら学校に通うことになります。20歳のマイマイは週に1回、EVの簿記係として働きに来ることになりました。

支援者の皆様には、この新しい取り組みをどうか暖かい眼差しで見守っていただけると幸いです。

ジョシュアとの再会

家族と暮らせることになりビレッジを離れたジョシュア(5歳)に、セメスターブレイク(学期休み)を利用してみんなで会いに行来ました。

ジョシュアは生まれてすぐにビレッジに来た子どもで、祐川神父が名付け親になりました。現在は実の姉と一緒に暮らしています。

離れてもみんな実の家族のように過ごしてきた仲間です。みんなの訪問にジョシュアはとても喜んだ様子でした。特に年の近いマージェイラと再会できて本当に嬉しそうでした。

黄色のTシャツがレネ　仕事について研修を受けています

ジョシュアはビレッジ最年少でみんなの末っ子的な存在でした

新しい環境でも元気に暮らしているようです

イースタービレッジ CDアルバム第2弾

フィリピンで歌われている曲や祈り、イースタービレッジオリジナルソング、また勝谷太治司教のオリジナル曲のイースタービレッジバージョンなど全14曲を収録。

施設のチャペルで録音された子供たちのイノセントな歌声や、イースタービレッジの歌姫ビビの美しい歌声など、前作よりもさらにスケールアップした音楽が聴く者の心を揺さぶります。

CDの受付・問い合わせ

カトリック月寒教会CDアルバム係り

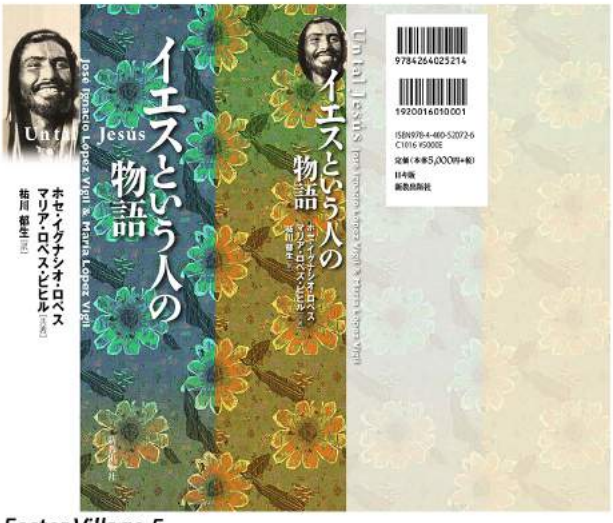
TEL:(011)851-2032
FAX:(011)851-2044
E-mail:ako.martha@gmail.com

また、iTunesやグーグルミュージック、ラインミュージックでもオリジナルソングを配信中。各サイトで"eastervillage"で検索。

追加出版のお知らせ

『イエスという人の物語』は2014年クリスマスに出版されましたが、この度、第二版が出されることになりました。144章、日本語でも千ページを超える作品ですが、地道にファンを増やしてきました。

ラテンアメリカで話題を呼んだラジオドラマに基づくイエスの物語で、読者は知らず知らずのうちに、当時の普通の生活や習慣、社会状況を理解することになります。勝谷司教の推薦をいただいています。ご注文はCDと同じく月寒教会まで。



Catching the star!(星を掴むマージェイラ)

《支援のお願い》

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子供たちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」支援者募集

■代表　勝谷　太治　■事務局　西田　淳子　松川　厚明

住所
060-0031　札幌市中央区北1条東6丁目10　カトリック札幌司教館内
「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会]事務局
Tel　011-241-2785　**Fax**　011-221-3668
支援金　：　年会費一口　¥5,000(一口以上)　一般寄付
郵便振替口座番号　：　02760-3-39473
口座名称　：　イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務局　：　EASTER VILLAGE OFFICE
Adress：Riverpark Subd.,Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines
Tel/Fax：63-64-577-3118
Email：info@eastervillage.com
Website：http://eastervillage.com

特記
会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付をくださった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年4回)

2018年12月　「イースタービレッジだより63号」　編集者：祐川真謙　編集責任者：祐川郁生